



知的財産権初心者講座<アーカイブ> ～基本的な知的財産権の理解のために～

講師：中川 淨宗 氏
専修大学／東海大学／清和大学／国士舘大学兼任講師
中川特許事務所 弁理士

- ◆特許、実用新案、意匠、商標、著作権といった「知的財産権」の基本的な知識は、知的財産の保護育成・トラブルの防止といった観点から、企業などでは知財部に限らずいかなる社員であってもこれを十分に身につけておくことが求められます。今や、知的財産に関する知識は、企業などが事業を継続・発展するために必要不可欠な知識と言えるでしょう。
- ◆しかしながら、知的財産権は、初心者には一般的に聞きなれない専門用語が数多く使用され、制度の仕組みも複雑多岐にわたり、たとえば基本的な部分であっても独学で理解するには困難が伴います。
- ◆そこで、本講座では、19年以上にわたって知的財産実務に携わるとともに大学で知的財産法の講師を務める弁理士が、実務に役立つ知的財産制度の基本的な知識について、わかりやすく講義します。本講座は、保護対象から見たアプローチで各法律を説明するとともに、判例などの「豊富な実例」や知財の現状が分かる「データ」も紹介します。

◇本講座は、企業・研究所・特許事務所などでこれから知的財産実務に携わる知財初心者の方々はもちろん、知的財産に関心のある他の業務に携わる方々にも最適な講座です。

◇本講座は、2026年春現在の法規定に対応した内容です。

Chapter			
全体構造	特許法	意匠法	著作権法
－知的財産法の意義	－発明の要件と種類	－意匠法の保護対象	－著作物
－知的財産法の分類	－特許取得の要件	－意匠の類否判断	－著作者
－知的財産権の特徴	－特許の主体	－意匠登録の要件	－著作者の権利
	－特許取得手続	－意匠登録手続	
	－特許権の効力	－意匠権の内容	
	－特許権の制限	－意匠権の侵害と救済	
	－特許権の活用	－特殊な意匠の制度	
	－特許権の消滅		
	－特許権の侵害と救済	商標法	
		－商標の機能	
	実用新案法	－商標法の保護対象	
	－実用新案法の保護対象	－商標の類否判断	
	－実用新案登録手続	－商標登録の要件	
	－実用新案権の内容	－商標登録手続	
	－実用新案権の侵害と救済	－商標権の効力	
	－実用新案特有の制度	－商標権の制限	
		－商標権の活用	
		－商標権の消滅	
		－商標権の侵害と救済	
		－特殊な商標の制度	